

麦の穂

発行責任者 医療法人光臨会 理事長 荒木 攻

60

平成26年
7月10日発行

医療法人 光臨会
荒木脳神経外科病院
Araki Neurosurgical Hospital

診療報酬改定における当院の取り組み

今年度の診療報酬改定は、「社会保障・税の一体改革」が目指す2025年の地域包括ケアシステム構築に向けた2回目の改定と理解しております。医療機関の機能分化・強化と連携を進め、病床機能の役割を明確化し、急性期を脱した患者の受け皿となる病床、主治医機能、在宅医療を充実させたい厚生労働省の意図を感じております。

高度急性期病院にとって注目すべき点は、やはり「7対1一般病棟入院基本料の算定要件の厳格化」でしょう。①90日超入院患者の除外規定を狭め平均在院日数の算定対象とするか療養病棟を算定するかを選択を迫り、②一般病棟用の重症度、医療・看護必要度の評価を見直し、③自宅等への復帰率の条件を75%以上とするなどの要件が入り、高度急性期病床とそれ以外とにふりがかけられています。また、特定入院料以外のすべての病棟で「診療データの提出」が必要となりました。これは日本版DRG (Diagnosis Related Group) 構築の準備に向けた動きとも思われます。さらに、「DPC機能評価係数Ⅱの見直し」も見逃せません。

当院では、これら改定内容を把握し3月より、院長指示のもと診療部、看護部、リハビリ部及び事務部が中心となり、複数のシミュレーションを実施しました。例えば、従来より亜急性期病床10床を保有していた経緯もあり、新設の地域包括ケア病床への移行を試みました。今改定では同一施設内の転棟が認められないため、高度急性期病床のクッション機能として果たすことができません。一方で、いち早く一般病棟用の重症度、医療・看護必要度の評価勉強会を診療部と看護部が開催し3月より評価が開始されました。そして診療情報管理室は過去6か月に遡り、在宅復帰率の算出を実施してくれました。

このように当院では各部署が協力して、今改定にどう対応すべきか早い時期より検討がなされたため、亜急性期病床を廃止し、病床110床を7対1一般病棟入院基本料68床、回復期リハビリテーション病棟入院料1（体制強化加算）42床、で実施することが決定され既に算定を開始しております。一例ですが、平成26年4月末時点で、一般病棟用の重症度、医療・看護必要度20.7%、平均在院日数14.9日、在宅復帰率78.5%の数値で病棟運用をしております。

2014年3月19日 平成26年厚生労働省告示 第91号によりますと、DPC機能評価係数Ⅱにおいて当院係数は0.0649と全国第Ⅲ群1,406病院中第82位、広島県38病院では第3位でした。この係数Ⅱは医療機関が担うべき役割や機能を評価する係数と言われており、今後もしっかり追求して行く予定です。

このように当院では各部署が診療に留まらず、病院運営においてもチーム医療で対応してくれており頼もしく思っております。これからも患者目線での医療を追求することが、この医療制度改革を乗り切る唯一の対策と信じ、病院運営を続けて参る所存です。

医療法人光臨会 理事長 荒木 攻

もくじ

- 1 診療報酬改定における当院の取り組み
- 2 広島県地域リハビリテーション広域支援センター活動報告
看護職員スキルアップセミナーの実施報告
- 3 平成26年度採用 新入職員のご紹介
- 4 第15期職員旅行
- 5 近隣医療機関のご紹介

—— 医療法人齊和會 広島クリニック ——

広島県地域リハビリテーション広域支援センター活動報告

平成26年3月28日、広島県から指定を受けている地域リハビリテーション広域支援センターの取組事業の一環として、地域リハビリテーションに関わる医療介護従事者を対象に人材育成研修を開催いたしました。今回は、株式会社ケアプラネット代表取締役の葉山靖明氏を講師にお迎えし、「片マヒ社長が語る意味あるリハビリ&ケア～元要介護2からの苦言と提言と感謝の言葉～」というテーマでご講演いただきました。他施設からも療法士のみでなく、介護支援専門員等の他職種も多数参加頂き、総勢110名を超える参加者が有意義な時間を過ごしました。病院での急性期・回復期リハビリテーション、退院後のデイサービス利用を経験した講師の話に、参加者それぞれの立場で「これから何を大切にして支援していこうか」と考える機会となりました。また、医療介護従事者として患者・利用者1人1人の生き方を知り、その人らしい人生を送る為に必要なサポートができるように、今変わらなければいけないと認識いたしました。



講師 葉山 靖明 先生



講演風景

翌日29日には、地域リハビリテーション活動の普及啓発を目的に、障害者・高齢者・地域一般住民を対象に「広島県地域リハビリテーション推進の会」を開催いたしました。『体験者に聞こう!! 退院後のリハビリ&新生活スタイル』とテーマを設定し、140名を超える参加者が、体験者の語りに耳を傾けました。片マヒという障害を持たれても輝いて地域で生活されておられる2名の方を迎えた座談会では、同じように病気や後遺症を乗り越えた参加者が切実な思いを伝える場面もあり、「こういう場を作ることが必要なのだ」と考えさせられる機会となりました。また、会場には病気や障害をもってから作成した手芸・絵画等の作品展示を行っており、作品や作成者の思いにたくさんの元気をいただくことができました。

2日間を通して、地域に住む人々がその人らしい人生を送り、いつまでも輝いて生活できる町づくりに向け、病院として取り組んでまいりたいと思っております。

リハビリテーション部 水戸裕香



作品展

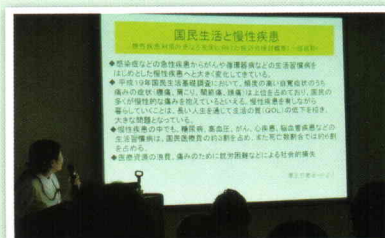


質疑応答風景

看護職員スキルアップセミナーの実施報告

平成26年4月23日に、当院研修室で、スキルアップセミナー「病気をもちながら生活する人を支える①患者の気持ちを引き出そう」を開催させていただきました。病気をもちながら生活する患者さんの大変さ、そんな患者さんを支えるために、私たち看護職はまず何をしなければならないかを伝えたいと思い、企画をしました。私自身、日頃のケアを見直すよい機会となったと思います。当日は、院内だけでなく、院外からも多数参加していただき、大変貴重な時間を過ごすことができました。

今後もシリーズで、1年間継続して当院の専門看護師や認定看護師が講師を務め研修を行う予定ですので、患者さんのため、看護師さんのために、日々の臨床現場で役立つ研修になるように、準備をしていきたいと思います。 看護部 慢性疾患専門看護師 鈴木桂子



講演風景

平成26年度採用 新入職員のご紹介

看護部



カワシマ アヤカ
川島 彩加
看護師(2階病棟)

頼もしい先輩方の元で日々勉強させていただいています。笑顔と元気で頑張ります。



マエダ トシオ
前田 稔生
准看護師(2階病棟)

仕事と学校の両立は大変ですが、毎日学び、少しずつでも成長していきます。



マツラ ユキ
松浦 友紀
看護師(2階病棟)

1日1日できる事を増やしていき、患者様に合ったケアを行えるように元気いっぱい頑張ります。



ヤマザキ アヤ
山崎 彩
准看護師(2階病棟)

4月から初めての病院勤務で緊張していますが沢山の事に挑戦して楽しく笑顔で頑張りたいと思います。



キムラ トシヒロ
木村 俊博
看護師(3階病棟)

新人5名が配属になり、経験者が殆どですが気持ちを新たに組みたいと思います。



キノシタ ユウスケ
木下 悠輔
准看護師(3階病棟)

仕事も私生活もけじめを付け、日々成長できるように勉強します。ブライントタッチもしたいです。



キムラ アリ
北村 有里
看護師(3階病棟)

これまでに様々な科で経験を積んできました。その経験を活かしながら、気持ち新たに頑張ります。



ササキ ヤスコ
佐々木 泰子
看護師(3階病棟)

まだ慣れない事も多いですが、これからも頑張りたいと思います。よろしくお願いします。



シゲタ アイリ
重田 愛莉
看護師(4階病棟)

多くの患者さんの笑顔のために、私自身笑顔で看護を提供していきたいです。



イノウエ ナオコ
井上 直子
准看護師(4階病棟)

患者様の思いを汲取れるような優しい看護師を目指して頑張ります。よろしくお願いします。



キムラ シンゴ
木村 真吾
准看護師(4階病棟)

患者様との対話を重視し、1日も早く患者様からもスタッフからも信頼される看護師になれるよう頑張ります。



ヤマモト チセ
山本 知世
看護師(3階病棟)

まだまだ、慣れないことも多いですが、一生懸命頑張ります。よろしくお願いします。

検査部



マツヤマ ユミコ
松山 弓子
准看護師(外来)

不安を持ちながら来院される患者様へ、安心と真心をお届けできるよう尽力します。



ナルト マキ
鳴戸 真樹
准看護師(外来)

様々な疾患に対しての知識、対応力を身につけて迅速な判断・ケアが出来る看護師を目指したいと思います。



ミウラ ユウキ
三浦 優希
臨床検査技師

私は迅速かつ正確に検査を行える臨床検査技師に早くなれるように精進します。



ハシモト ミホ
橋本 実穂
臨床検査技師

病院は全て患者様の為に動いているという事を実感しています。私も早く患者様の為になれるよう努力します。

診療補助部



ウエヒラ トモミ
上平 友美
臨床工学士

医療機器を安全に使って頂けるよう、臨床工学技師として精一杯働いていきます。



ナカヒロ タカユキ
中広 貴之
診療情報管理士

明るく元気よく、チーム医療の一員として一生懸命研鑽します。



クシマ ナオ
玖島 奈央
医療秘書

このたび医師事務補助の一員として働くことになりました。早く仕事を覚えるよう頑張ります。

リハビリテーション部



キクツギ コウジ
菊次 光治
理学療法士

リハビリ部の先輩方を見習い、1日で早く役に立てるような医療人を目指します。



イマイ ミナコ
今井 仁奈子
理学療法士

先輩方に色々教えていただきながら、笑顔いっぱい元よく患者様とのリハビリを行っていききたいです。



タキ シンゴ
瀧 慎伍
理学療法士

4月よりリハビリ部の一員となりました。リハビリを通じて患者様のお役に立てるよう頑張っていきます。



ハマダ チエコ
濱田 千恵子
理学療法士

患者様とご家族に寄り添えるリハビリテーションを目指して頑張ります。



カメタニ ヒカル
亀谷 陽
作業療法士

患者様との関わりや先輩方から教わったことを活かし、日々を大事に頑張っていきます。



ウズワ ユミコ
渦輪 祐美子
作業療法士

勉強不足な事が多くありますが、先輩方から学び成長できるよう頑張っていきたいと思います。



ソノダ アヤカ
園田 彩加
作業療法士

患者様にも声をかけていただけるようになり、関わりを大事に、日々学び、笑顔で頑張ります。



マエシマ ナミ
前島 菜見
作業療法士

患者様1人1人との時間を大切に、日々元気良く笑顔で頑張っていきます。



モリタ マヤ
森田 真弥
言語聴覚士

入職して数ヶ月。慣れない事ばかりですが笑顔をモットーに精一杯頑張っていきます。



ハツカリ サワコ
初雁 佐和子
言語聴覚士

忙しい日々にはやっと慣れてきました。いつまでもアドバイスを真摯に受けとめ、精進したいと思います。



フジヤマ リョウ
藤山 諒
言語聴覚士

佐賀県出身です。患者様ひとりひとりのことを考え、より楽しいリハビリを提供していきたいです。



第15期職員旅行

2月から3月にかけて医療法人光臨会の職員旅行が開催されました。

今期の職員旅行第1弾は久しぶりの海外となり、場所は台湾の台北へ行ってきました。

1班は2月22日（土）～2月24日（月）にかけて16名、2班は3月1日（土）～3月3日（月）にかけて12名で、職員の家族も含めての参加となりました。現地の食事や、観光地を訪れ、文化の違いや似たような文化があることを楽しむことが出来る有意義な旅行となりました。



15期職員旅行 （選べる3プラン）に行ってきました。

★台北2泊3日
2月22日～24日 1班
3月1日～3日 2班

★伊勢・鳥羽1泊2日
3月15日～16日 1班
3月22日～23日 2班

★出雲大社といちご狩り
3月9日

近隣医療機関のご紹介

医療法人齊和會 広島クリニック

院長：天野 幹三

住所：(本院)〒733-0032 広島市西区東観音町20番16号

TEL:082-232-0707 FAX:082-295-2680

(分院)〒730-0044 広島市中区宝町2番1号フジグラン4階

TEL:082-543-6688 FAX:082-543-6689

診療科目：整形外科・リウマチ科・リハビリテーション・内科・漢方内科

診療時間：

(本院)	診療時間	月	火	水	木	金	土	日/祝
	8:45~13:00	●	●	●	●	●	●	/
	15:00~18:00	●	●	●	●	●	●	/

(分院)	診療時間	月	火	水	木	金	土	日/祝
	9:00~13:00	●	●	●	●	●	●	/
	14:00~18:00	●	●	●	●	●	●	/



院長 天野 幹三 先生

HPアドレス：<http://www2.gol.com/users/hclinic/>

リウマチ・整形外科・リハビリテーション・東洋医学・線維筋痛症を専門とし特にリウマチ、リハビリテーションでは指導医として評価を頂いております。常に患者様に満足頂ける治療を行えるクリニックを目指しています。

医師

万全のチーム医療体制で、一人ひとりに合ったきめ細かい治療を実施しています。

整形外科・リウマチ科	内科	麻酔科
天野 幹三	小森 弘	井上 恵介
山田 晋	八田 和彦	木村 倫子
久米 健介	神安 雅哉	
金沢 敏勝		
戸田 克広		

病院

広島クリニックは、1994年に開院し、西洋医学だけではなく東洋医学を取り入れ、独自のトータル治療を実施しています。

リウマチでは、4名の日本リウマチ学会の指導医・専門医が在籍し、リウマチの治療にあたっています。手術では、最新鋭のナビゲーションシステムを導入し、より正確で安心な手術を実現する事が可能になりました。変形性関節症、関節リウマチに対する関節形成術、滑膜切除術、手や肘の疾患・骨折などを行っています。人工関節置換術は、手指・肘関節・膝関節・股関節などを行っています。

また、リハビリテーションでは、日本リハビリテーション医学会指導医・専門医が常勤しており、きめこまかく丁寧なリハビリテーションを受ける事が出来ます。

つらい痛み等の症状でお困りの方は、ぜひ当院にご相談ください。



本院（広島市西区東観音 20-16）



分院（広島市中区宝町 2-1 フジグラン4階）

医療法人光臨会 理念

- 一、皆様に安心していただける、
全人的な医療と介護を目指します

荒木脳神経外科病院 理念

- 一、脳神経外科としての専門性を軸に、
幅広い診療体制で地域医療に貢献します
- 一、急性期医療の中核病院として、
高機能で質の高いチーム医療を行います

運営方針

1. 「医療の原点は救急である」
2. 快適な療養環境と接遇の提供
3. チーム医療の推進と相互啓発
4. 「医療と福祉の複合化」の推進

患者様の権利

- 医療法人光臨会 荒木脳神経外科病院は、職員全員が
次のような患者様の権利を尊重し、納得と同意に
基づいた医療を行います
1. 個人の尊厳が守られる権利を尊重します
 2. 最善かつ安全な医療を受ける権利を尊重します
 3. 医療に関して知る権利を尊重します
 4. 個人のプライバシーが守られる権利を尊重します
 5. 自分自身の治療等について自分で決定する権利を
尊重します
 6. 自分自身の治療について他の医師の意見を聞く
権利を尊重します
 7. 苦情を申し立てる権利を尊重します

患者様の義務

1. 患者様には適切かつ安全な医療を
受ける為、診療上必要な自らの情
報を正確に伝える義務があります
2. 患者様にはお互いに快適な療養生
活を受ける為に、定められた規則
を守る義務があります。



外来担当医表

平成26年5月19日～

			月	火	水	木	金	土
脳神経外科	午前	初診(1診)	医長 谷	診療部長 山崎	診療副部長 加納	院長 沖	副院長 江本	広大
		再診(2診)	副院長 江本	院長 沖	太田	診療部長 山崎	医長 谷	医長 谷
	午後	初・再診(1診)	診療副部長 加納	医長 谷	広大	診療副部長 加納	太田	広大
脳神経内科	午前	4 診				青木		
総合診療 (内科・外科)	午前	3 診	診療部長 野村	診療部長 藤井	診療部長 野村	診療部長 藤井	診療部長 野村	診療部長 渡辺
	午後	4 診	診療部長 渡辺	診療部長 渡辺	診療部長 渡辺	診療部長 野村	診療部長 渡辺	診療部長 野村
	午前		渡辺 (検査日)		渡辺 (検査日)	野村 (検査日)	渡辺 (検査日)	
	午後				野村 (検査日)			
外 科	午前	4 診	診療部長 藤井				診療部長 藤井	
脳神経外科 形成外科 消化器内科	午前	5 診		副院長 江本	北野病院(形成) ※平本	理事長 荒木 (再診)		井上

診察時間

◆完全予約制

午前 9 時～12 時

(初診受付：午前 11 時 30 分迄)

午後 3 時～6 時

(初診受付：午後 5 時 30 分迄)

救急は 24 時間受け付けております

※形成外科

平本先生(北野病院 形成外科)

第 2 水曜日 毎月 1 回

※井上名誉教授

第 2・4 土曜日 毎月 2 回

医療法人光臨会

荒木脳神経外科病院

〒733-0821 広島市西区庚午北 2 丁目 8-7

TEL 082-272-1114 FAX 082-272-7048

E-mail info@arakihp.jp

ホームページアドレス http://www.arakihp.jp

荒木訪問リハビリテーション

〒733-0821 広島市西区庚午北 2 丁目 8-7

TEL 082-527-1123 FAX 082-527-1127

荒木クリニック 通所リハビリテーション

〒733-0822 広島市西区庚午中 2 丁目 11-15

TEL 082-507-6100

あんしんホーム(認知症対応型共同生活介護施設)

〒733-0822 広島市西区庚午中 2 丁目 11-15

TEL 082-507-6600

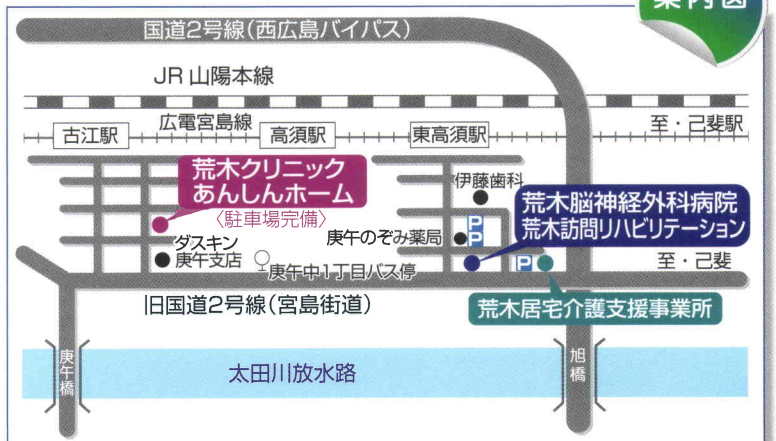
荒木居宅介護支援事業所

〒733-0821 広島市西区庚午北 2 丁目 1-4-201

TEL 082-507-6300



案内図



交通案内

○自動車

西広島バイパス「庚午出口」より
宮島方向へ100m(宮島街道沿い)

○広島電鉄・宮島線／「東高須」下車 徒歩3分

○広島バス25号線／「庚午北2丁目」バス停前

お知らせ

- ・ 外来担当医表が変更になりました。
- ・ 食中毒や熱中症の発生しやすい季節です。手洗い・食物管理をして食中毒を予防し、こまめな水分摂取を心掛け熱中症を予防しましょう。